

製品名: NACAD ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14390**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	140kDa

抗原情報

遺伝子名	NACAD
別名	NACAD; KIAA0363; NAC-alpha domain-containing protein 1
遺伝子 ID	23148.0
SwissProt ID	O15069
免疫原	抗血清はヒト NACAD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 376-425

背景

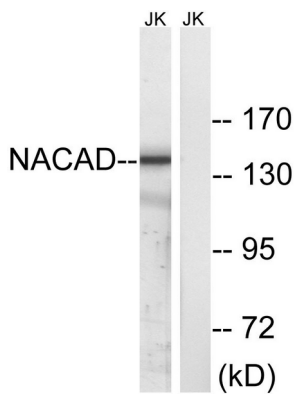
機能:非分泌ポリペプチドが小胞体 (ER) に不適切に標的化されるのを防ぐ可能性があります。新生ポリペプチド鎖がリボソームから出現するときに結合し、通常、新生分泌ペプチドを ER に標的化するシグナル認識粒子 (SRP) との相互作用をブロックする可能性が

あります。また、ER膜のタンパク質転座部位 (M 部位) に対するリボソームの固有の親和性を低下させる可能性があります。類似性:NAC- α ファミリーに属します。類似性:1つの NAC-A/B (NAC- α/β) ドメインを含みます。機能:非分泌ポリペプチドが小胞体 (ER) に不適切に標的化されるのを防ぐ可能性があります。新生ポリペプチド鎖がリボソームから出現するときに結合し、通常、新生分泌ペプチドを ER に標的化するシグナル認識粒子 (SRP) との相互作用をブロックする可能性があります。ER 膜のタンパク質転座部位 (M 部位) に対するリボソームの固有の親和性も低下させる可能性があります。類似性:NAC- α ファミリーに属します。類似性:1つの NAC-A/B (NAC- α/β) ドメインが含まれます。、

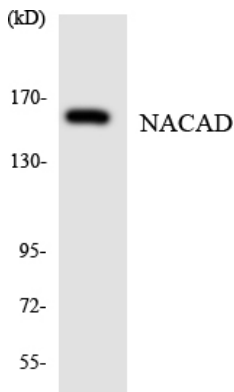
研究分野

-

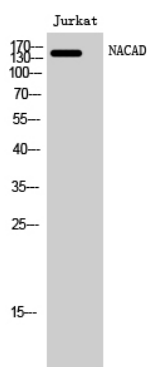
画像データ



NACAD 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NACAD 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NACAD ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

